

■ コメント

1. 感染性胃腸炎

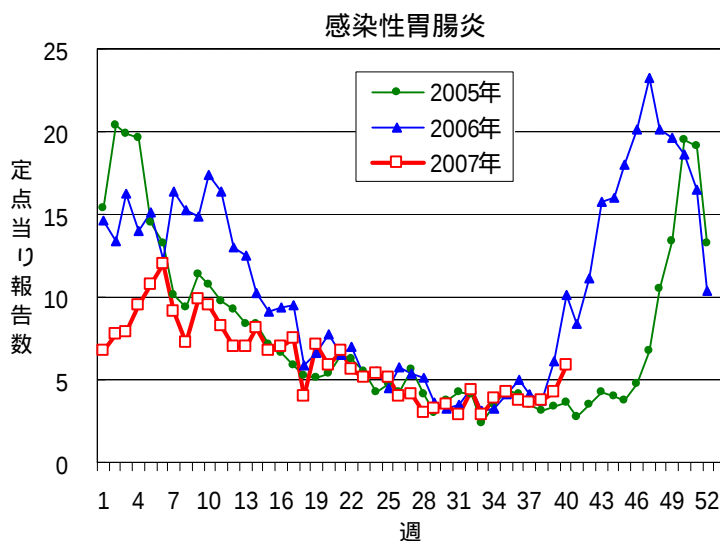
定点当たり5.92人とやや増加しています。安芸区12.5人、佐伯区11.0人となっています。流行がかなり早く始まった昨年と傾向が似ており、今後の動向に注意が必要です。

2. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり(O157) 今年の累計は16件となっています。第34週以降報告が続いています。

3. 麻疹

小児科定点から1人報告されています。(東区・10～14歳)



■ 5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点 当り	平均 過去 5年 (注1) 1週間	発生 記号	疾患名	報告数	定点 当り	平均 過去 5年 (注1) 1週間	発生 記号
インフルエンザ (注2)	-	-	-		麻疹(注3)	1	0.04	0.03	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.11		流行性耳下腺炎	6	0.25	0.86	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	19	0.79	0.83		RSウイルス 感染症	1	0.04	0.06	
感染性胃腸炎	142	5.92	4.63		急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	12	0.50	0.57		流行性角結膜炎	9	1.13	1.43	
手足口病	11	0.46	0.21		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	1	0.04	0.19		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.06	
突発性発疹	28	1.17	0.94		マイコプラズマ 肺炎	2	0.29	0.52	
百日咳	2	0.08	0.03		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.22						

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1.2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1.15～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
(注2) 鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	131	女性(20歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	女性(10歳未満)・O157

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

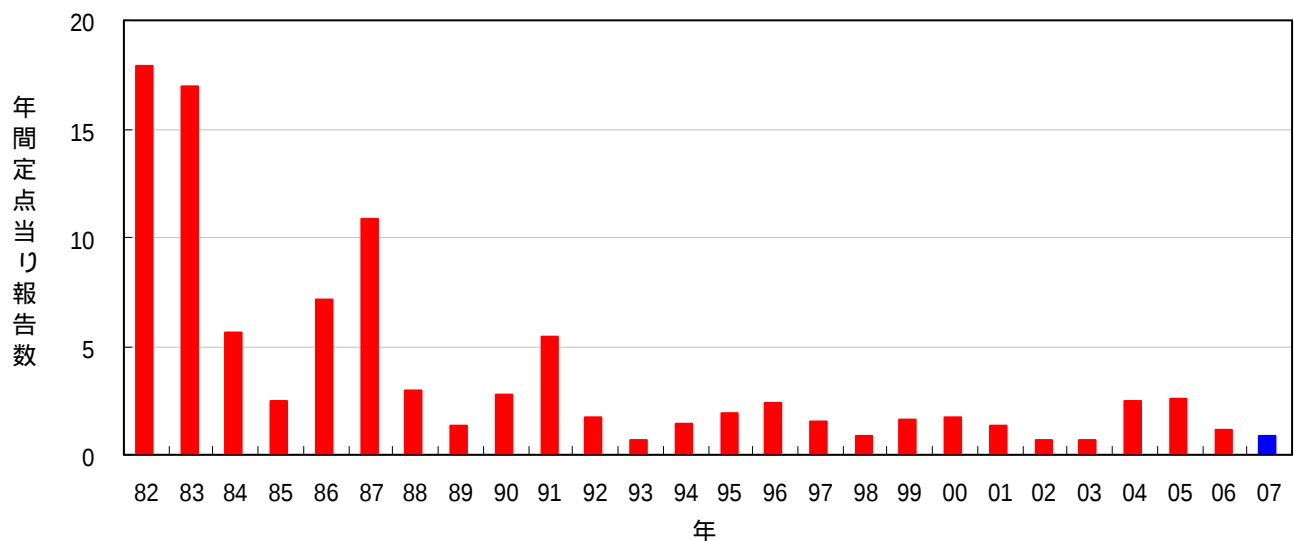
			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん 百日咳 風しん ヘルパンギーナ 麻しん（注2） 流行性耳下腺炎 RSウイルス感染症 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎（注3） 成人麻しん																				
			インフルエンザ（注1）																				
報告数	広島市	第36週	-	4	22	90	11	5	4	26	2	2	17	-	5	-	-	7	-	-	1	-	-
		第37週	-	13	18	88	17	6	4	22	2	-	15	-	3	-	-	6	-	1	2	-	-
		第38週	-	9	20	90	8	7	5	18	3	-	14	1	4	1	-	1	1	-	-	-	-
		第39週	-	10	25	102	9	5	5	16	-	-	13	-	2	-	-	7	-	4	2	-	-
		第40週	-	2	19	142	12	11	1	28	2	-	3	1	6	1	-	9	-	2	2	-	-
定点当り	広島市	第36週	-	0.17	0.92	3.75	0.46	0.21	0.17	1.08	0.08	0.08	0.71	-	0.21	-	-	0.88	-	-	0.14	-	-
		第37週	-	0.54	0.75	3.67	0.71	0.25	0.17	0.92	0.08	-	0.63	-	0.13	-	-	0.75	-	0.14	0.29	-	-
		第38週	-	0.38	0.83	3.75	0.33	0.29	0.21	0.75	0.13	-	0.58	0.04	0.17	0.04	-	0.13	0.14	-	-	-	-
		第39週	-	0.42	1.04	4.25	0.38	0.21	0.21	0.67	-	-	0.54	-	0.08	-	-	0.88	-	0.57	0.29	-	-
		第40週	-	0.08	0.79	5.92	0.50	0.46	0.04	1.17	0.08	-	0.13	0.04	0.25	0.04	-	1.13	-	0.29	0.29	-	-
	全国	第38週	0.08	0.23	0.77	2.94	0.42	0.77	0.18	0.72	0.03	-	0.98	0.01	0.26	-	0.02	0.70	0.01	0.03	0.22	0.02	0.02
		第39週	0.08	0.17	0.73	2.85	0.41	0.69	0.12	0.72	0.02	-	0.77	0.01	0.27	-	0.01	0.59	0.01	0.05	0.31	0.03	-

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	3	男	2007/08/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB5型

【参考】広島市における百日咳の年間定点当り報告数の推移 (1982年～2007年第40週)



広島市における百日咳は、1981年から百日咳ワクチンを含むDPT三種混合ワクチンが導入されたことにより1980年代から1990年代にかけて、減少傾向で推移しましたが、それ以降は概ね横ばいとなっています。

また、4～5年ごとに増加する傾向があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第40週 (10月1日～10月7日)